

# 広げよう コミュニティの輪

彩の国コミュニティ協議会



2006 Sainokuni  
お天気の日、  
秋風にのって出発!!  
秋といえばもちろん!...食べ物だけでなく  
目にも美味しい季節です。気持ちのいい  
この季節、みなさんも出かけませんか?

## 主な内容

- P2 平成18年度定期総会開催報告 ● 会長あいさつ ● 事例発表
- P3 会員紹介 ● 企業会員 キリンビール株式会社埼玉統括支社  
● 団体会員(県域団体) 社団法人埼玉県緑化推進委員会
- P4 **/// 特集 ///** コミュニティ活動 ● 炊出訓練応援隊

プチ情報 ... ページの欄外に役立つ地域情報を掲載しています。

## お知らせ

- ・会員紹介への掲載を希望される会員の方を募集しています。希望される会員の方は、事務局まで御連絡ください。
  - ・「プチ情報」への情報掲載を希望される会員の方を募集しています。
- 詳細については事務局へお問い合わせください。(60マス×3行程度での記載になります。)



# 定期総会開催報告

平成18年6月9日(金)に県民健康センターにて平成18年度の定期総会を開催し、あいにくの雨にもかかわらず、大勢の方々に出席していただきました。

当日は平成17年度事業報告や収支決算、平成18年度事業計画(案)、収支予算(案)などについて審議が行われ、原案どおり承認されました。

また、総会後は越谷市コミュニティ推進協議会と東京ガス株式会社による事例発表会が行われました。



## 会長(埼玉県知事 上田清司)あいさつ

本日は、「彩の国コミュニティ協議会」の平成18年度の定期総会に多数御出席をいただきまして誠にありがとうございます。



私は、先日、「春日部藤まつり」に参加しました。この祭が地域のつながりの結集体である春日部市コミュニティ推進協議会が主催していることを聞いて感激いたしました。

また、朝霞市にも彩夏祭という祭があり、ここも実際の運営は朝霞市コミュニティ協議会が担っています。このように各地域のコミュニティ協議会が地域のコミュニケーションの完全な担い手になっていることは大変ありがたいことであると思っています。

さて、増加する凶悪犯罪を防止するため、私も直接国の方にお会いするなどして、警察官の増員を国に強く要望したところ、大幅な増員が実現しました。ただ、警察官ばかり増えても社会がうまくいくわけではありません。そこで地域社会の防犯力を高めるため、民間パトロールを募ったところ、2年前は515団体でありましたが、平成18年4月末で2,096団体にまで増えました。これがまさにコミュニティという地域社会の本物の力を出した事例ではないかと思えます。

街頭犯罪の7割は青少年の犯罪だと言われております。地域社会という枠組の中で子どもたちの社会体験などがもっと充実すれば、本当の意味での生きる力や知恵を学ぶことができると思っています。今年度から県においても「埼玉の子ども70万人体験活動」として、様々な企業・団体の協力を得て、子どもたちに体験活動を実践していただくなどの事業に取り組んでいます。

今後とも、協議会の皆様方の協力を得て、ぜひ、いい社会を作って、いい気持ちになりたいと思っています。引き続き、皆様方の御協力を心からお願い申し上げます。ありがとうございました。

## 事例発表

### 越谷市コミュニティ推進協議会

越谷市では、市コミ協と13のコミュニティ区に設置された地区コミ協が協力し、各地域の現状、課題に合わせ、個性的で魅力ある地域づくりを目指しています。そして、各地区コミ協はその実現のため独自性を活かした事業を市へ提案し、助成金を受けています。また、市コミ協では活動報告会を開催し情報交換を行うなど、団体間の交流を図っています。



「地区コミ協  
コミュニティ農園作業風景」

### 東京ガス株式会社

東京ガス(株)は公益性の高い企業として、創業以来、地域のお客さまとの信頼関係の構築を重視し、社会的責任の遂行に努めてきました。

支店を地域における機関と位置づけ、地域行政や各種団体と連携をとりながら、広聴広報活動や地域における課題に取り組んでいます。地域と連携した防犯の取組、環境対策、省エネ・エコライフについて考えるエコクッキング講座や食育の取組としてキッズ・イン・ザ・キッチンなどを行っています。

また、埼玉県内でも県内「オール東京ガス」(協力企業を含む)が、社会貢献活動を行う「チーム埼玉」を発足し、今後、地域と連携し防犯や福祉、子育てなどの地域の課題に取り組みます。



「エコクッキング講座風景」

◎東京ガス(株)埼玉支店URL

<http://www.tokyo-gas.co.jp/area/saitama/square.htm>



### 県民の日協賛 県民ゴルフデイ2006

平成18年11月に県内74ゴルフコースで県民ゴルフデイを実施します。開催ゴルフ場や詳細についてはお問い合わせください。  
問い合わせ先：埼玉県ゴルフ場事務連絡協議会(株)日高カントリー倶楽部内) 042-989-1311  
埼玉県総務部県民・消費生活課 コミュニティ担当 048-830-2817・2819

企業会員

キリンビール株式会社埼玉統括支社

キリングroupは、CSR（Corporate Social Responsibility）活動を「社会から信頼をいただくための取り組み」ととらえ、誠実に事業活動を行うことを目指して取り組んでいます。企業はお客様や株主様、地域の人々、お取引先様、従業員なども含めた社会に支えられ、そして自然の恵みが商品の源になっています。だからこそ、支えていただける皆様とのコミュニケーションを通じて、持続可能な社会と地球環境に貢献できる「キリンらしいCSR」を実践していきたいと考えています。

その具体的な活動のひとつとして、1981年に設立されたキリン福祉財団は、「家族介護者交流事業」「障害者の自立・福祉の向上」「青少年の健全育成」「公募による地域福祉活動支援」の4つの事業を中心に支援を行っています。2006年度は地域に根ざした企業であることを目指した活動として「地域における子育て支援ボランティア活動」をテーマに、埼玉県内では8団



「キリン福祉財団」

体に助成金の贈呈が行われました。4月11日キリンビール(株)埼玉統括支社で行われた贈呈式では、支社会議室を利用して日常活動の報告や活発な情報交換が行われ、団体間の交流をはじめ、私達社員が福祉活動を理解する場をいただくことが出来ました。

また継続的な社会貢献活動の一環として、社員が持ち寄った本を社内でチャリティー販売し、その収益金を元に児童擁護施設の子どもたちを東京ディズニーランドに招待し、社員が1日サポートする活動「ハロー！ミッキー」を行い、社員がボランティアとして参加しています。

環境保護の面では、「NPO法人戸田の川を考える会」が主催する「荒川クリーンエイド」に共感し、2003年より社員がボランティアとして参加するなど、一人ひとりが意識を高め、地域社会に貢献できる活動を実践しています。

埼玉統括支社ではこれからも地域の皆さまに愛される企業・社員を目指し、当支社が掲げるスローガン「うれしいを、さいたまから。」のもと、様々な活動に取り組んで参ります。



◎キリンビール株式会社埼玉統括支社  
URL

<http://www.kirin.co.jp/company/csr/index.html>

団体会員  
(県域団体)

社団法人埼玉県緑化推進委員会

●設立の経緯

昭和25年3月、みどりを失い荒廃した県土の復興のため「埼玉県郷土緑化推進委員会」として設立され、県民の皆様から”緑の羽根募金”としてお預かりした浄財で緑化の推進を図ってきました。平成7年”緑の募金”の指定団体となるとともに、社団法人に組織替えし今日に至っています。

●会員

埼玉県、市町村、県全体を活動エリアとする森林、農業、マスコミ、金融、PTA、建設関係等の102団体を正会員、業界等125の会社・個人を賛助会員として構成されています。

●緑の募金運動について

緑化推進の普及啓発及び快適で住み良い緑豊かな郷土づくりを目的として、緑の募金運動を実施しています。

重点募金期間を春と秋に設定し、学校募金、職場募金、家庭募金、街頭募金、企業募金等の方法で行っています。

皆様からお預かりした募金については、ご協力いただいた市町村の計画による緑化事業を中心として、普及啓発や緑の奉仕活動のような緑化運動に活用されています。

●取組事例

緑の募金を原資とした緑の募金緑化事業等は、年間約100箇所で行われています。

その中でも、学校教育に位置づけられ、児童と先生方、地域の父兄が一体となって取り組んで立派な成果を上げた事例を次に紹介します。

学校名：さいたま市立土合小学校（桜区）

事業名：平成16年緑の募金緑化事業（事業費30万円・全額寄付により実施）

事業内容：同校の学校環境緑化推進計画に基づき、平成16年10月に親子グリーン活動として、児童と父兄140名、教職員が参加して校舎周辺に、カエデ、コナラ、ブルーベリー等の果樹を60本植樹しました。

同校は平成17年に県学校環境緑化コンクールで見事優良校として表彰されました。



◎社団法人埼玉県緑化推進委員会

事務局：さいたま市浦和区高砂3-12-9

埼玉県農林会館内

TEL 048-824-5978 FAX 048-824-2168



## 市町村・自治会が行う炊出し訓練を「いつでも、どこでも炊出し訓練応援隊」が応援します！

地震等の災害が発生し、電気や都市ガスなどのライフラインが寸断された際には、避難所等で被災者自らが炊出しを行う必要が出てきます。

その、いざという時のために、日頃から防災訓練と併せて実践的な炊出し訓練を実施し、経験しておくことが重要です。

そこで、県に登録された「いつでも、どこでも炊出し訓練応援隊」が、市町村や自治会が行う炊出し訓練を支援（バックアップ）する制度がスタートしました。



写真：日本LPガス団体協議会資料より

### 炊出し訓練応援隊とは？

炊出し訓練応援隊とは、炊出し訓練を行う際に、器具の貸出や取扱い方法の指導などを行い、訓練を応援してくれる個人又は団体です。

炊出し訓練応援隊による応援事項は、次のとおりです。

- (1) ガスボンベやガスコンロなどの貸出と使い方の指導
- (2) 食器類や食材の提供
- (3) 非常食レシピの作成
- (4) 訓練・災害時の対応や必要となる設備等に係る助言（炊き出しに係るもの）

炊出し訓練応援隊の出勤に係る費用は、原則無償です。ただし、燃料費や食材費など、一部有償となるものもありますので、登録簿の記載内容をよく確認し、直接炊出し訓練応援隊にお問い合わせ下さい。



左写真：埼玉県LPガス協会より  
右写真：日本LPガス団体協議会資料より

(注) 炊出し訓練応援隊は、実際の災害時には出勤できません。

### 「炊出し訓練応援隊」の出勤依頼の方法

「炊出し訓練応援隊」を活用して、炊出し訓練を実施してみませんか。

「炊出し訓練応援隊」の登録情報は、県化学保安課ホームページ上の「いつでも、どこでも炊出し訓練応援隊登録簿」に掲載しています。

出勤を希望する市町村・自治会は、出勤依頼書に必要事項を記入の上、直接「炊出し訓練応援隊」に出勤を依頼して下さい。

(注)・出勤を依頼できるのは、埼玉県内の市町村・自治会です。

・出勤を依頼する前に、「登録簿」及び「いつでも、どこでも炊出し訓練応援隊事業実施要領」の内容をよく御確認ください。

～出勤依頼書は、次のアドレスからダウンロードできます～

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A05/BD00/takidashi/youshiki/youshiki06.doc>

### 炊出し訓練応援隊として登録していただける団体等を募集しています！

この事業に賛同し、「炊出し訓練応援隊」として市町村・自治会が行う炊出し訓練を御支援いただける方は「いつでも、どこでも炊出し訓練応援隊事業実施要領」に基づき、登録申請書に必要事項を記入の上、県化学保安課に申請して下さい。



～登録申請書は、次のアドレスからダウンロードできます～

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A05/BD00/takidashi/youshiki/youshiki01.doc>

#### ◎登録申請の受付及び問い合わせ先

埼玉県危機管理防災部化学保安課  
液化石油ガス・冷凍担当

(さいたま市浦和区高砂3-15-1 埼玉県庁別館3階)  
電話 048-830-2973、2974 (直通)

#### ◎化学保安課ホームページ

～「いつでも、どこでも炊出し訓練応援隊」について～

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A05/BD00/takidashi/top.html>

※「いつでも、どこでも炊出し訓練応援隊事業実施要領」も、上記ホームページで閲覧及びダウンロードできます。

### 会員募集

当協議会では、コミュニティ活動をさらに活発にするために、協力していただける新規会員を募集しています。お問い合わせは、彩の国コミュニティ協議会事務局まで！

TEL 048-830-2819